

平成 29 年度地域づくり楽習会 in さんぽく 開催報告

平成 30 年 3 月 11 日（日）午後 1 時から、さんぽく会館において「平成 29 年度地域づくり楽習会 in さんぽく」を開催しました。

今回は、第 1 部において、山北地区の小学生が撮影した山北ご当地 PR ムービー「心をひとつに・・・さんぽくでまってるさげの～」の上映、地域おこし協力隊の 3 年間の任期を終えた大滝順子さんの「地域の宝を活かす実践」に向けた意見発表、各部会の取り組み発表を行いました。

第 2 部では、地域リーダーズ部会が進める「集いの場づくり」として開催した「シャベリバ」で出た意見の中から、空き家活用のためのランプシェード制作のワークショップを行いました。

限られた時間の中でしたが、グループごとにイメージを膨らませ、意見を出し合い、それぞれ個性的なランプシェードを制作しました。

終始楽しそうに作業をされていた参加者の皆さん。この作業を通じて、普段あまり関わることのない方々が交流し意見を交わすことができ、「充実した日だった。」「つながりができた。」「自ら動く事の大切さがわかった。」などの感想が聞かれました。

地域リーダーズ部会では、これまで積み重ねてきた「シャベリバ」の取り組みを継続して集いの場づくりを進めるとともに、空き家活用のためのワークショップを実施していこうと考えておりますので、地域の皆さんのご参加をよろしくお願いいたします。



意見発表をする大滝順子さん



ランプシェード制作に取り組む参加者の皆さん

山北地区に新たな地域おこし協力隊が着任！

平成 30 年 4 月、新たに山北地区で活動していただく「地域おこし協力隊」に長野県長野市出身の藤沢弥由さんが着任しました。

藤沢さんは、「羽越しな布」の継承や PR 活動、製品価値の向上に関する活動などを担当し、主に、さんぽく生業の里で勤務されます。

短大で民俗学・文化人類学を学んできた藤沢さん。地元の金融機関に勤めながらも、ずっと日本の伝統文化を育む仕事がかしたいと思っていたところ、「羽越しな布」の地域おこし協力隊募集を知り、心惹かれて応募されたそうです。

藤沢さんの活動を山北地区の皆さんで応援しましょう！



しな績み作業をする藤沢さん

さんぽくまちづくり通信

第 22 号

発行 山北地区まちづくり協議会

発行日 平成 30 年（2018 年）6 月 15 日

事務局 村上市 山北支所 地域振興課 自治振興室 (住所) 〒959-3993 新潟県村上市府屋 232
(TEL) 0254-77-3111 (FAX) 0254-77-2217 (E-mail) s.shinko-chiiki@city.murakami.lg.jp



平成 30 年度 通常総会を開催しました！

▲ 通常総会の様子

第 2 次山北地区まちづくり計画は 2 年目に突入！

平成 30 年度の通常総会が、4 月 18 日（水）さんぽく会館において開催されました。

理事、役員及び委員総勢 88 名の方々（委任状提出者含む）が出席しました。

総会では、

- (1) 平成 29 年度事業報告及び収支決算
- (2) 平成 30 年度事業計画及び収支予算（案）
- (3) 役員改選

の 3 つの議題についてご審議いただき、すべてが承認され、今年度のスタートを切りました。

役員改選では、設立当初から会長を務めてこられた佐藤庄平さんがご勇退され、新たに板垣純一さんが会長に就任されました。

第 2 次山北地区まちづくり計画によるまちづくりがスタートして 2 年目となる今年度は、より具体的に形として見える活動をしていきたいと考えています。

各部会がそれぞれ地域の課題解決に向けて検討・試行してきた事業について、より具体的に取組んでいきたいと思っております。

地域の課題解決のためには、一人ひとりがワガゴトとして地域づくりに関わる必要不可欠ですので、皆さまの積極的な関わりをよろしくお願いいたします！

平成 30 年度予算と事業内容

主な支出項目	予算(円)	事業内容
運営費	2,138,000	専従事務局員賃金、報償費、消耗品費等
コミュニティ支援・連携の推進	4,105,000	集落元気づくり支援、公民館活動支援、人材バンク創設に向けた取り組み
各地域づくり団体の支援・連携の推進	2,539,000	地域づくり団体支援、山北PR活動、地域産物流通促進、福祉まつり支援、買物困難者支援事業、環境美化活動、産業体験ツアー
地域人材育成の推進	2,070,000	地域づくり楽習会、先進地視察研修、協議会活性化事業、集いの場づくり、地域の担い手育成事業、まちづくりへの参画支援
まちづくり協議会の安定運営	2,987,000	まちづくり通信、行事カレンダー 百姓やってみ隊推進事業
積立金	550,000	まちづくり協議会拠点施設整備、百姓やってみ隊活動拠点整備
繰出金	1,300	積立金利子を積立金へ繰出し
予備費	112,600	
合計	14,502,900	

役員に就任された方々のご紹介

今回の総会では、役員の変更が行われ、会長をはじめ新たに4名が役員に選出・承認されました。以下、平成30年度から2年間役員を担っていただきます。

役職	氏名	備考
会長	板垣 純一	新規
副会長	加藤 英人	継続
副会長	斎藤 梅子	新規
事務局長	斎藤 信秋	新規
監事	渡辺 等	継続
監事	菅原 義栄	新規

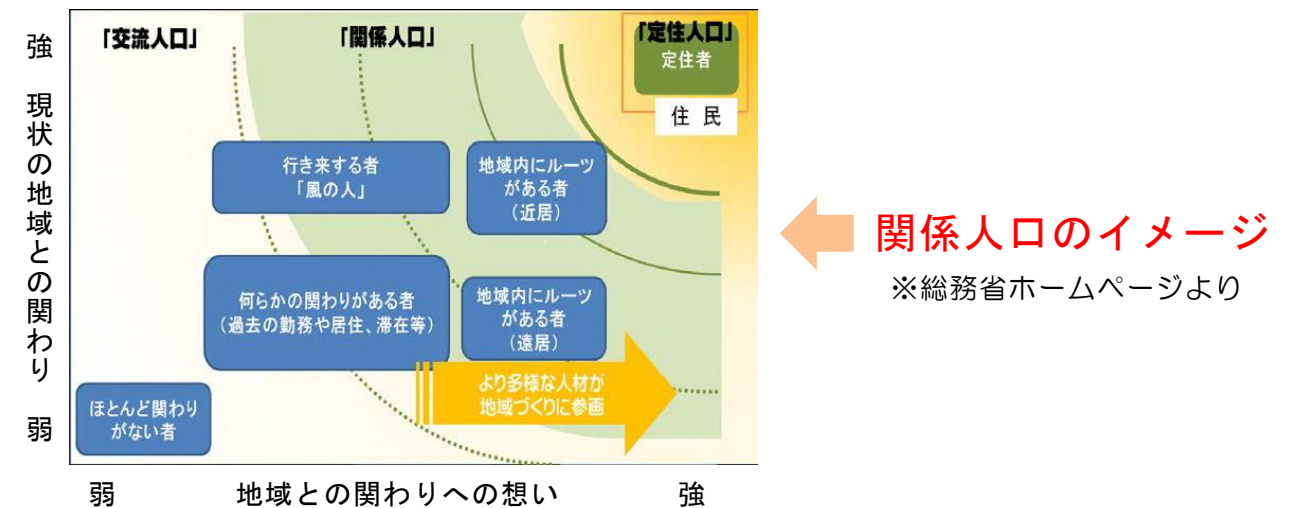


役員に就任された皆さん

「百姓やってみ隊」で関係人口の創出へ

最近、「関係人口」という言葉がよく聞かれるようになりました。「関係人口」とは、移住した「定住人口」や、観光に来た「交流人口」でもない、地域や地域の人たちとさまざまな形で関わり、地域を応援してくれるような人たちのことです。

全国的に、若者を中心に田舎暮らしに対する関心が高まっており、「関係人口」と呼ばれる地域外の人材が地域づくりの担い手になることが期待されています。



山北地区外から来た人たちが農作業体験や山北の暮らしを体験する「百姓やってみ隊」も、山北に関わりを持ってきている大切な「関係人口」です。

先の山北地区まちづくり協議会通常総会では、今年度も村上市から「百姓やってみ隊」業務を受託することが承認され、村上市と業務委託契約を交わし活動がスタートしました。

隊員の募集が終わり、すでに第1回目の活動を終えた「百姓やってみ隊」。今年度は、希望者には「じっくり百姓やってみ隊」として、府屋の活動拠点を活用した短期の「お試し移住」により、地域の方々との会話を楽しんだり山北の暮らしをじっくり味わっていただき、さらに山北地区への関心・関与を深めていただきたいと思いますと考えておりますので、地域の皆さんも関わりを持っていただければ幸いです。

「百姓やってみ隊」第1回活動報告

平成30年5月19日(土)～20日(日)にかけて、第1回目の活動を行いました。初日はガイダンスを行った後、山北の魅力を体感していただくため、塩づくりを見学・体験しました。午後は、あいにくの悪天候の中、畑作の基本を学んだ後、実際に自ら購入した野菜の苗を植えました。

翌日は、大毎集落の「田植えツアー」に参加し、清々しい晴天の中、田植え作業を体験。昼食交流会では、筍や山菜など山北の味を堪能し、充実した2日間を過ごしていただくことができました。



塩づくり工房見学



野菜の苗を植える参加者



田植えを終え記念撮影